

弦楽六重奏による Christmasコンサート

古澤 巖

Iwao Furusawa

Philharmonic Strings Berlin

ベルリン・フィルハーモニック ストリングス

～愛のクリスマス～ 2023

古澤巖が奏でるサン・ロレンツォ
(1718年製ストラディヴァリウス)

至福の音色と共に、気品溢れるクリスマスを
演出します。

演奏予定曲

ツィゴイネルワイゼン (サラサーテ)
コンチェルト第8番 (ロベルト・ディ・シリノ)
『四季』より「冬」 (ヴィヴァルディ)
他



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ



文化庁

文化庁 劇場・音楽堂等の
子供鑑賞体験支援事業

主催 / NHKエンタープライズ、ザ・シンフォニーホール、ジェイ・ツー

協賛 / 株式会社アルソア慧央グループ 後援 / ドイツ連邦共和国総領事館、ハッツアンリミテッド 企画制作 / NHKエンタープライズ

Dorian Xhoxhi (1st Vn)
Johanna Pichlmair (2nd Vn)
Martin Stegner (Vla)
David Riniker (Vc)
Michael Karg (Cb)

※メンバーは変更になる可能性があります

文化庁子供文化芸術活動支援事業 対象公演

小学1年生～18歳以下のお子様を先着で無料ご招待!

※未就学児
入場不可

詳細・受付はこちら▶

<https://teket.jp/6944/23618>



12/12 (火)

ザ・シンフォニーホール

料金(税込): S席 ¥8,000 / A席 ¥6,500 / U25席 ¥2,500

開演 18:30 (開場 17:30)

*未就学児入場不可 *U25席は引換券発行にて当日指定、8枚限定、一般発売よりチケットぴあにて発売

*公演開催時期のガイドラインに沿った感染予防対策にご協力をお願いします。

お問合せ: キョードーインフォメーション 0570-200-888 (平日・土曜 11:00～18:00 *日・祝休み)

KYODO

古澤巖 × ベルリン・フィルハーモニック スtringス

最高級のストラディヴァリウスとともに...

～ 愛のクリスマス 2023 ～



“ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団”のヴィルトゥオーゾ「ベルリン・フィルハーモニック スtringス」。マリー・アントワネットがその音色に聞き惚れたと言われる最高峰のストラディヴァリウス「サン・ロレンツォ」を古澤巖が奏で、ベルリン・フィルハーモニック スtringスと共に、夢のクリスマスへと誘います。古澤の盟友、ロベルト・ディ・マリーノの新作コンチェルトからクラシックの名曲まで、心潤う至極のひとつときを。



古澤 巖 (ヴァイオリン)

競技ダンス番組「Dの旋律」は3年目を迎える (TV東京(木)21:54,BSテレ東(土)25:30)。宗次コレクション最高額ストラディヴァリウス 1718「San Lorenzo」担当。2022年より、俳優の山本耕史とのコンサートツアー「Dandyism Banquet」をスタートさせた。洗足学園大学客員教授、COCO FARM WINERY取締役、テラモスレーシングチーム所属、毎夏、日向ミュージック & サーフィンキャンプ開催。ベルリンフィルメンバーや品川カルテット等と毎年アルバムをリリースしている。最新アルバムは2023年5月発売の「炎のヴァイオリン」(HATS)

<https://www.iwaofurusawa.com/>

ベルリン・フィルハーモニック スtringス

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の選ばれた最高の弦楽奏者達による5名の室内楽団で、古澤巖とのプロジェクトのために設立された。メンバーは、ベルリン・フィルでの演奏歴の他、フィルハーモニック・スリング・カルテット・ベルリンやエヒナト三重奏団、ベルリン・フィル12人のチェリストたち、フィルハーモニア・カルテット・ベルリンなど、多数の名門室内楽アンサンブルで長年活躍している。幅広い経験と芸術的情熱により、バッハやヴィヴァルディのような作曲家からピアソラ、ジョン・ウィリアムズなど、様々なジャンルとスタイルで演奏している。重厚な音色と一糸乱れぬ響きは圧巻である。

【ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団】

1882年に創設され、140年に及ぶ伝統を誇る世界最高のオーケストラ。フルトヴェングラー、カラヤン、アバド、ラトルら錚々たる指揮者が歴代首席指揮者を務め、完璧なアンサンブルと輝かしいサウンドで世界中の音楽ファンを魅了し続けている。



※メンバーは変更になる可能性があります。

— 使用楽器 —



Antonio Stradivari 1718
“San Lorenzo Ex Viotti”

A.ストラディヴァリウス 1718
“サン・ロレンツォ Exヴィオッティ”

現存するストラディヴァリウスは約600挺と言われている中で最もユニークな作品の一つである。

サイドには “GLORIA ET DIVITIE” という文字の痕跡があり、バスバーサイドには “IN DOMOEIUS” というはっきりとした文字が残っている。

このフレーズは旧約聖書の詩篇第111章第3節からの引用で、元はラテン語で「Gloria et divitiae in domo eius et iustitia eius manet in saeculum saeculi」(栄光と富は神の家にあり、神の裁きは永遠である)とある。簡略化した抜粋が前述の一節(栄光と富は神の家にあり)であり、ルネッサンス期には繁栄と富を願い、この言葉を様々な形で絵画や彫刻に入っていた。

Antonio Stradivari 1718 “SAN LORENZO Ex Viotti”はそんな願いを込めてストラディヴァリウス本人が書いたものであり、その言葉の通り、他のストラディヴァリウスの作品にはない思いが込められていると考えられる。

文:日本ヴァイオリン

2023年 9月9日(土) 10:00～ チケット発売！

※0570で始まる電話番号は一部の携帯・PHSからはご利用になれません。

ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333 (10:00～18:00 火曜定休)

チケットぴあ ----- <https://w.pia.jp/t/furusawa-berlinphil-o/> (Pコード:247-024)

ローソンチケット ----- <https://l-tike.com/furusawa-berlinphil/> (Lコード:52043)

CNプレイガイド ----- **0570-08-9999** (オペレーター対応) <https://www.cnplayguide.com/>

イープラス ----- <https://eplus.jp/iwaofurusawa/>

ARSOA
SkinUp
Care



ARSOA